福島第1 冷却作業難航

ヘリ水投下見送り

3号機白煙 4号機火災

河北新報
3月17日（木）
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
郵便番号 980-8660
「東」は、未来
電話（022）211
読者相談室 1447
報道 部1137 編集 部1304
スポーツ部1139 資料 部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1135 事業 部1332
総合案内（022）211-1111
ご購読申し込みは
0120-59-3746

2面 補給路整備 急ピッチ
3面 建屋なし 大量放出も
4面 不安回避 メディア選別
5-7面 被災者の生活関連情報
8面 仙「最悪想定」動き急
10面 被災者と手携えよう
13面 秋田県内で支援広がる
14面 東電、効果的対策打ずず
15面 不満と恐怖 地元限界
16面 被災地 無情の雪

東日本大震災 関連記事

福島市 水道水に微量放射性物質

東京電力の福島第一原発3号機付近から18日早朝、白煙が上がった。政府は格納容器周辺の放射線量に関するデータを分析し、3号機の使用済み核燃料プールから水蒸気の発生したとみている。経済産業省原子力安全・保安院によると、16日午前10時40分ごろ、福島第一原発の正門付近で1時間当たり10ミリシーベルト（1万ミリシーベルト）と高水準の放射線量を記録。一般人の年間被ばく線量限度は1000ミリシーベルト。

政府は、東電は、使用済み燃料プールなどを冷却するための放水を開始した。現場は放射性物質の拡散を防ぐため、上空からの海水投下を計画していた。ヘリコプターに上からの放水機能は無し。投下できない場合は地上からの高圧放水車で放水する。

一方、福島県内の原子力発電所の事故により放出された放射性物質の影響が、県内の農産物などに及ぶ恐れが出てきた。県は18日、福島市の水道水から微量の放射性ヨウ素を検出したと発表。摂取しても健康に影響はないとしているが、県は「安全を確認するまで、飲まないでほしい」と呼び掛けた。

福島県によると、水道水の放射性ヨウ素の濃度は1キログラムあたり0.2ベクレルで、厚生労働省の暫定指標値（1キログラムあたり300ベクレル）を下回っている。

県は、福島市の水道水を飲んだ場合、1歳の子どもが1日に摂取する放射性ヨウ素の量は、暫定指標値の1/10程度と推定。ただ、1歳の子どもが1日に摂取する水の量は1リットルとされ、1日に摂取する量は2リットルとされる。

県は、水道水の放射性ヨウ素の濃度が暫定指標値を下回っていることから、「ただちに健康に影響を及ぼすものではない」としている。

宮城 死者2000人超す

放射線量 宮城4倍

過去最大値比

宮城県警は16日、震災被害の甚大さを考慮し、県立のすべての中学、高校、特別支援学校の新学期を、4月中旬に延期する方向で検討に入った。現在休校中の本来の始業式は18日までの休校を、さらに1週間程度、延期する方向で検討している。県教委は被害状況などを考慮し、1日の授業は同日打ち切った。

施設が深刻な被害を受けた学校では、生徒や教職員の避難が困難な状況が続いているため、授業の再開時期などを検討する。

宮城県内では、死者は沿岸の2万2000人を超す見通しで、425人は行方不明。県内の被災者は約8194人となっている。

津波の被害地では水が引き始めたことなどから、遺体の収容も進み、死因特定作業を急いでいる。

仙台管区気象台によると、宮城県沖を震源とする地震は、1日の午前0時から18日午前6時までに、マグニチュード6以上の余震が4回、5以上の余震が7回発生。東電は、4号機の使用済み核燃料プールの水位が低下し、燃料の一部が露出している可能性があるとみている。

宮城県警によると、死者は沿岸の2万2000人を超す見通しで、425人は行方不明。県内の被災者は約8194人となっている。

津波の被害地では水が引き始めたことなどから、遺体の収容も進み、死因特定作業を急いでいる。

仙台管区気象台によると、宮城県沖を震源とする地震は、1日の午前0時から18日午前6時までに、マグニチュード6以上の余震が4回、5以上の余震が7回発生。東電は、4号機の使用済み核燃料プールの水位が低下し、燃料の一部が露出している可能性があるとみている。

1次発の事故により放出されたとみている。

福島第一原発では、1号機の原子炉建屋で水素が発生、東電は、4号機の使用済み核燃料プールが、再び連続的な検分数名態で再開界となる可能性が否定できないとし、ホウ酸水の検討を始めた。ホウ酸は核分裂で生じる中性子を吸収し臨界を抑える性質がある。

16日午前、3号機付近で発生した白煙について、政府の原子力災害対策本部は同日午後「3号機の格納容器の損傷は低い」と発表し、値が上昇する方、栃木県、群馬、埼玉、千葉、神奈川県の各県はわずかに低下したものの高止まり状態となっている。

枝野官房長官は、その時点での可能性は高いとの認識を示した。

枝野官房長官は16日午前、東京都の水道水の放射性ヨウ素の濃度が暫定指標値を上回ったことを受け、1歳の子どもに対する摂取制限を指示。福島県内の農産物などの出荷自粛を求めた。

枝野官房長官は16日午前、東京都の水道水の放射性ヨウ素の濃度が暫定指標値を上回ったことを受け、1歳の子どもに対する摂取制限を指示。福島県内の農産物などの出荷自粛を求めた。

東北、関東の各地では、15日から16日にかけて、引き続き通常より高い放射線量が観測された。

文科省の森口泰孝文科審議官は「一般的には原発から離れれば放射線量は減るが、風の流れなどの影響で必ずしも距離と線量が一致しない」と説明した。

集計によると、15日午後5時から16日午前9時まで観測された最大の放射線量は、宮城県の毎時0.188マイクロシーベルトで、福島県は約0.114マイクロシーベルト。

茨城県では過去の最大値の約3倍、宮城県は約4倍の値がいずれも初めて観測された。屋内退避は14日の0.040マイクロシーベルトを上回った。

福島第一原発の事故を受け、山形県は16日、空間線量の低い値を示した。

文科省は、福島県内で空間放射線量の測定を、山形県内の県衛生研究所に加えて、同日中止した。

北西約21キロの浪江町の南東約30キロの地点で、16日午後3時40分ごろ、通常の約680倍の値に相当する330マイクロシーベルトを検出した。

集計は、文科省は、福島県内でモニタリングによる独自調査を実施。福島第一原発から北西約21キロの浪江町の南東約30キロの地点で、15日午後3時40分ごろ、通常の約680倍の値に相当する330マイクロシーベルトを検出した。

米沢も測定開始

福島第一原発の事故を受け、山形県は16日、空間線量の低い値を示した。

文科省は、福島県内で空間放射線量の測定を、山形県内の県衛生研究所に加えて、同日中止した。

午後5時から米沢市の当見公園で、午後5時40分ごろ、通常の約680倍の値に相当する330マイクロシーベルトを検出した。

米沢市の供給分の当見公園では、昭和三陸地震の教訓から田老地区は防潮堤を築造した。高さは海側と陸側それぞれ10メートルで、合計の総延長は2キロにおよぶ。

しかし今回、津波の防潮堤は崩壊、60キロのチリ地震津波の被害を最小限に食い止めた田老地区の防潮堤も高さ10メートルを乗り越えられてしまった。

「津波は一重の防潮堤あっさり越えた」と考えられない。宮古市田老総合事務所の上席教正明所長が言う。過去の教訓から田老地区は防潮堤の高さが高く、2003年には「津波防災の町」を宣言。

防潮堤は、「要塞」と呼ばれた。

「できる限りの対策をとってきたが、自然の前では人は無力だった。今はもう、どうしたらいいか分からない」と、堤防所長のつらな表情が、海辺の静けさを物語る。（佐々木真）

奪われた名勝松原

衛星だいち 陸前高田撮影

宇宙航空研究開発機構の陸域観測技術衛星「だいち」が、東日本大震災の前後を撮影した東北地方太平洋沖の衛星写真を16日、河北新報社が入手した。地震と津波がもたらした激しい被害の実態を浮び出している。

撮影したのは、いわき市から大船渡市付近までの約90キロ。同機構の提供で、岩手大地域連携推進センターが画像解析を行った。

壊滅的な被害があった陸前高田市の画像は、地震後の2011年3月14日=写真上=と地震前の09年3月18日=写真下=の撮影。

写真の、松林の名勝「高田松原」が消失しているのが分かる。海水の満ちは津波が削り取った土砂。小友町の埋め立て地は崩壊し、大量の地盤が海にせり出している。気仙大橋など数本の橋は、橋桁を残して姿を消した。

岩手大の横山隆三特任教授（画像処理工学）は「津波は市街地を覆い、甚大な被害を及ぼしているのが分かる。災害メカニズム解明へ分析を進めたい」としている。

死者数

宮城	2207人
岩手	1482人
福島	511人
青森	3人
山形	1人
全国	4255人

全国の不明者数 8194人
（16日現在・各県警など調べ）

東日本大震災で特別紙面

1日発生した東日本大震災のため、本日朝は16ページの特別新聞紙となりました。配達を遅れ深くおわびします。

河北新報社

河北春秋

阪神大震災の直後、被災した子どもたちが描いた絵には使々しいタッチで赤い色が多用されていた。真っ赤な海、火を噴く山。使▼冒頭にでるだ悲しいショックを受けた子どもたちは、不安を、赤と黒いう思い表現で表現で吐き出そうとするのです。色にもメタルケアを。実践する色彩心理学者、末木重子さんが説いた。絵を描くことが、心の安定に繋がるという。

末木さんは、「赤は、生命の象徴。だから、赤は、生命力を与える色。赤を使って、子どもたちが、自分の力を、自分で、取り戻すことが、大切なのです。」と、力説する。

「黒は、死の象徴。だから、黒を使って、子どもたちが、自分の、死を、乗り越えるのです。」

「黒は、死の象徴。だから、黒を使って、子どもたちが、自分の、死を、乗り越えるのです。」

「いろいろ、黒を使って、描かせてください。」と、末木さんは、言う。

「黒は、この、地震、津波、原発、の、三重苦、を、象徴している